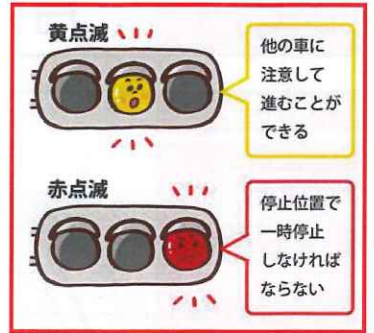


## 夜 点滅信号での出会い頭事故に注意しよう

間から早朝は普通の信号制御から点滅信号に変わる交差点があります。夜間に交通量が大きく減少するので制御を変えているのですが、点滅信号を軽視して停止を怠る車がいるため、出会い頭事故が発生する危険があります。さる1月23日、島根県東出雲町の県道交差点で軽自動車同士が衝突し、1台が横転する事故が発生しました。双方の運転者2人がけがをしたものの、命に別状はないということです。現場は1灯式ではない普通の信号交差点ですが、事故処理の映像では双方が赤と黄に点滅していましたので、どちらかの車が一時停止を怠った可能性があります。夜間に郊外の交通量が少ない道路では、ほとんど他の車に出会わないため、赤点滅信号で停止するのが面倒くさくなることがあり、少し減速する程度でも大丈夫だろうと油断しがちです。赤点滅信号では必ず停止して安全確認を徹底するとともに、黄点滅信号の側の車両も十分に注意して走行するように心がけましょう。



## 熊 路線バスの発進妨害は違反です

本県警高速隊などは2月13日、熊本県内の九州自動車道上り線でバスにあおり運転をして乗客を負傷させたとして、乗用車のドライバーを逮捕しました。警察によると、逮捕されたドライバーは2月5日午後3時頃、高速道路を乗用車で運転中に、停留所から本線に戻ったバスに追越車線から幅寄せを行い、前方に割り込んで急停止して衝突させ、乗員乗客5人に軽傷を負わせた疑いがあります。ドライバーは「バスが入ってきて頭にきた」と言っているようです。ここで思い出してほしいのが、バスがバス停から発進しようと合図を出した際、みなさんはどうしていますか。急いで追い抜きますか？ それとも、進路を譲りますか？ 道路交通法第31条の2では、「発進の合図を出したバスの進路を妨げてはならない」ことが定められています。バス停から発進しようとするバスを見かけた際には、譲り合い、思いやりの精神で、安全運行に協力しましょう。

## 片 大型車のオーバーハングに配慮しよう

側2車線以上の道路で、左端車線ではなく第2車線を走行しているとき、前方に道路外から左折して道路に合流する大型車がいたとき、あなたはどうしますか？ 自分の車線ではないから関係ないと思って、そのまま通過しようとするのは禁物です。大型車が左折合流するとき、車体の長さによっては1車線では無理なことがあり、車体前部が第2車線まで少しはみ出すことがあります。こうしたオーバーハングについて、大型トラックなどの運転者はよく知っているのですが、少し減速して合流するのを促す場合が多いのですが、乗用車に乗る人は気づきにくいので、そのまま行こうとしてしまいがちです。オーバーハングに驚き、乗用車が慌てて進路変更をして避けたり、大型車がブレーキを踏む場面が多いのはこのためです。ハンドル操作などで大型車との接触は避けられたとしても、状況によっては、対向車線の車や第3車線をやってきた後続車との危険が発生します。こんなときは危険予測意識を働かせ、少し減速して大型車の合流を見守りましょう。少しの思いやりが事故の誘発を防ぎます。